

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2025年															2026年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ～7日	12月 ～14日	12月 ～21日	12月 ～31日	1月 ～11日	1月 ～18日
カンピロバクター	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	24	6	7	5	0	8	6
病原性大腸菌	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	44	13	23	15	1	11	17
腸管出血性大腸菌	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2
サルモネラ	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	7	2	3	7	0	3	6
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	4	4	4	4	1	4	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0	0	0	1	0	1	4

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和8年第3週(1月12日～1月18日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10	4	2	1		2		1
三類	7	腸管出血性大腸菌感染症	7	1	1			5		
四類	1	レジオネラ症	1			1				
五類	12	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1
		侵袭性肺炎球菌感染症	1						1	
		梅毒	2					2		
		破傷風	1						1	
		麻疹	1					1		
		百日咳	6		1			3		2

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 8年3週(1月12日～1月18日)

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり8.21人の報告がありました。減少が続いていますが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が7件報告されています。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第3週 A型:55人、B型:25人

2 麻疹

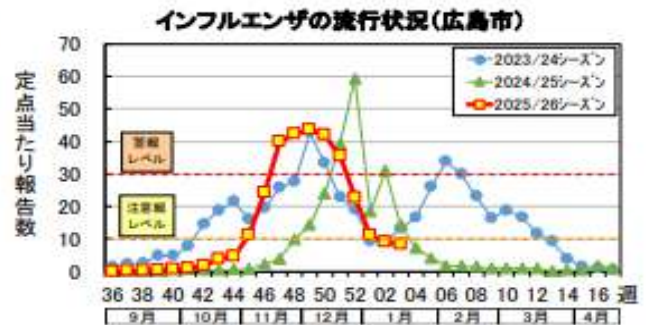
今年初めての報告が1件ありました。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり2.33人の報告がありました。感染経路は、飛沫感染や接触感染で、2～5日の潜伏期を経て、突然の発熱、のどの痛み、苺舌などの症状が現れます。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

4 腸管出血性大腸菌感染症

5件の報告がありました。感染予防のため、加熱が必要な食品は十分に加熱し、生野菜は十分に洗いましょう。また、調理の前、食事の前、トイレの後などは、せっけんと流水で手を洗いましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1751	51.50			小児科	突発性発しん	5	0.24	0.30	
	インフルエンザ	279	8.21	8.27			ヘルパンギーナ	-	-	0.09	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	12	0.35				流行性耳下腺炎	-	-	0.03	
小児科	RSウイルス感染症	10	0.48	0.06		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	3	0.14	0.52			流行性角結膜炎	4	0.50	0.63	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	2.33	0.99		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	121	5.76	7.18			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	4	0.19	0.15			マイコプラズマ肺炎	12	2.00	0.43	
	手足口病	1	0.05	0.22			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	2	0.10	0.01			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	34
小児科 定点数	21
眼科 定点数	8
基幹 定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	3	70歳代、80歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	5	5	20歳代・O157・1人、10歳未満・O血清群不明・3人、30歳代・O血清群不明・1人
5	梅毒	2	2	40歳代、80歳代
5	百日咳	3	4	20歳代・2人、60歳代・1人
5	麻疹	1	1	30歳代